

## 東京芸術祭 2021 野外劇事業計画

## 1. 事業枠組み：

主催 東京芸術祭実行委員会〔豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、東京芸術劇場・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）〕

東京芸術祭総合ディレクター

宮城聡（演出家、SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督）

会期 準備：6月～8月

稽古：9月（3週間程度）、10月（2週間程度）

本番：2021年10月16日（土）～10月24日（日）〔予定〕

会場 池袋西口公園野外劇場

全体スケジュール（予定）

日程	場所・会場	内容
6月～8月	都内	準備作業
9月～10月	東京都外（予定）	立ち稽古
10月11日～10月14日	池袋西口公園野外劇場	会場搬入・仕込み
10月16日～10月24日	池袋西口公園野外劇場	公開GP、本番（10回程度想定）
10月25日～10月26日	池袋西口公園野外劇場	会場撤収・搬出

※上演は1日に1ステージ、17時30分から19時まで予定。

事業担当 東京芸術祭実行委員会事務局 根本晴美

（アーツカウンシル東京企画室企画助成課アソシエイトディレクター）

## 2. 内 容：

東京芸術祭 2021 野外劇

東京芸術祭において宮城聡総合ディレクターが提唱した3つのコンセプト「ひらく」「きわめる」「つながる」のうち、ワンコインで観劇できるハイクオリティな野外パフォーマンスを上演し、これまで劇場に足を運んだことのない人々が初めて舞台演劇に触れる機会と、まちなかの賑わいを同時に創出する「ひらく」を体現するプログラム。

## 【作 品】

ウィリアム・シェイクスピア「ロミオとジュリエット」

## ●演出

青木 豪（あおき・ごう）

劇作家、脚本家、演出家。明治大学文学部文学科演劇学専攻を卒業の後、1997年に劇団グリングを旗揚げし、全18公演の作・演出を務める。2009年に活動休止、2014年に解散。2002年、『ストリップ』が日本劇作家協会新人戯曲賞の一時選考を通過。2007年、『猿のゆりかご』にて第51回岸田國士戯曲賞候補。2009年に脚本を手がけたHTBスペシャルドラマ「ミエルヒ」で第47回ギャラクシー賞テレビ部門優秀賞。2010年NHK FMシアター「リバイバル」でABU賞受賞。2012年、『往転-オウテン』で第66回文化庁芸術祭新人賞受賞。2013年、文化庁新進芸術家派遣制度により1年間ロンドンに留学。